

## 第 6 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 7 年 10 月 23 日（木） 午後 2 時 30 分～3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 大講堂
出 席 委 員	佐藤(茂)委員、細井委員、恩田委員、大島委員、小熊委員、橋本委員、近藤委員
欠 席 委 員	小林委員、高橋委員、佐藤(康)委員
事 務 局 関 係 課	地域総務課（加藤補佐、小田主事、外山主事） 建設課（阿部課長）
会 議 要 旨	<p>1 視察の振り返り</p> <p>各委員から前回の視察の感想や、今後取り組んでいきたいことについて発表していただいた。主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料農業大学新潟キャンパスの学生とのつながりを深めていきたい。</li> <li>・学生との意見交換の場を設け、学生が北区をどのように見ているかを知りたい。</li> <li>・北区の特産物について、大学と連携して広くアピールを行いたい。</li> <li>・「大学連携事業」について、区民への周知をさらに進めると良いと感じた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>2 今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、大学側は北区に関する情報を十分に把握しておらず、どのような分野で連携を深めるかは、現時点では明確ではない。</li> <li>・そのため、今後は「どのような内容・分野で連携を進めたいか」を整理していく必要がある。</li> <li>・本部会では、特に学生とのつながりを深めることを見据えた活動内容について検討を進めていきたい。</li> <li>・次回の部会までに、「北区の課題を踏まえ、食料農業大学と連携して取り組みたいこと」を意見シートにより提出することとする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 第 6 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 7 年 10 月 23 日（木） 午後 2 時 30 分～3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出 席 委 員	菊地委員、坪木委員、草間委員、小田委員、日下委員、小林委員、遠藤委員
欠 席 委 員	佐久間委員、小柳委員、渡邊委員
事 務 局 関 係 課	健康福祉課（吉田課長）、北区教育支援センター（上村所長）、豊栄地区公民館（渡辺館長）、地域総務課（伊藤主査）
会 議 要 旨	<p>1 今後の調査・研究内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動予定について確認（別紙のとおり）</li> </ul> <p>2 その他</p> <p>幼児期の話以外にも、小学校入学後の児童期についても調査・研究を希望する意見があった。</p> <p>11 月の部会では、教育支援センターより関連する内容についてお話いただく予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 福祉教育部会 今後の予定について

令和7年10月23日（木）

○11月27日（木）部会 予定未定

○12月3日（水）午後1時半～ 講師 丸山マチ子氏（保育士、公認心理士、臨床発達心理士）

- ・子育て・こどもに関する相談から感じる事
- ・子育てに関する事について、社会的な背景・問題について  
（こどもの理解、大人の理解）
- ・社会的な課題や背景に対して、自分たちができることは何か
- ・幼少期の虐待や単発性トラウマ（災害などによる）のカウンセリングもやっていらっしゃるのでは  
トラウマの視点からのお話も



○12月25日（木）部会 講師 角張慶子教授（新潟県立大学人間生活学部 子ども学科）

- ・愛着の形成は大切であるが、こどもを育てるための手段。愛着の形成が目的になってはならない。  
愛着はこどもの育ちを支えるための手段
- ・子育てしづらい時代である。少子化でこどもを知らないお母さんも多い  
地域全体でどうやってこどもを育てていくか



## 第 5 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 7 年 10 月 23 日（木） 午後 2 時 30 分～3 時 00 分
会 場	豊栄地区公民館 第 2 研修室
出 席 委 員	藤田委員、諏訪委員、飛鳥井委員、倉島委員、馬委員、桜井委員
欠 席 委 員	マルシェフ委員、渡邊委員、吉田委員、野口委員
事 務 局 関 係 課	区民生活課（高野課長）、産業振興課（高橋課長） 地域総務課（田中補佐、本田係長）
会 議 要 旨	<p>1 調査・研究テーマについて</p> <p>来年度に実施を検討している「スポ GOMI」について、競技のルールや運営方法等を理解し、今後の大会実施の検討・準備を進めるため、次回の部会で講習会の開催を予定している。</p> <p>なお、講師については一般財団法人日本スポ GOMI 連盟より派遣を依頼し、対面による講習を実施する。</p> <p>2 現地視察の実施について</p> <p>北区における水辺や自然施設について理解を深めることを目的に、10 月 24 日（金）に現地視察を実施した。</p> <p>視察では、十二湍、高森の大ケヤキ、福島湍、海辺の森、阿賀野川ふれあい公園の各施設を巡り、地域の方々や施設管理者から施設の特徴や管理状況について説明を受けた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>